結の故郷 越前おおの　　報道資料

【発信日】令和７年５月２７日
【問合わせ先】
大野市役所（２階　２４番窓口）
地域づくり部　地域文化課　五十川、辻
電話　0779-64-4834（内線 2643）

文化活動発表・鑑賞の場に関する方針決定

大野市文化会館あり方検討委員会からの報告などを踏まえ、文化活動発表・鑑賞の場に関する方針を次のとおり決定しましたのでお知らせします。

＜方　針＞

文化活動は、人々に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするものです。

文化活動発表の場については、市民が行う様々な文化活動が展開され、人材育成や魅力ある地域づくりの活性化を図ることができる場所として、また文化活動鑑賞の場については、市民が行う多様で質の高い優れた発表を鑑賞する機会を提供し、地域の文化振興を図ることができる場所として、大切な役割を担っています。

文化活動発表・鑑賞の場を確保するにあたっては、少子化高齢化、人口減少に伴う文化施設の利用者数の減少や、将来世代への負担を残さない持続可能な財政運営を考慮し判断する必要があります。

大野市は、大野市文化会館あり方検討委員会からの報告などを踏まえ、これからの市民の文化活動発表・鑑賞の場に関する方針を下記のとおりとします。

記

・文化会館の新築・増築並びに現文化会館の耐震化・長寿命化は行わず、現文化会館は、令和８年５月３１日をもって閉館します。

・文化活動に必要な補修や備品の導入を行い、市内既存施設を有効活用します。

文化活動発表・鑑賞の場に関する方針について

１．施設概要

施設の名称	大野市文化会館（～平成８年まで大野市民会館）
供用開始	昭和４１年６月
敷地面積	５，９８１．９７㎡
構造	ＲＣ造（鉄筋コンクリート） 一部ＳＲＣ造（鉄骨鉄筋コンクリート） ３階建
延べ床面積	３，１６１．０３㎡ （１階1,951.83㎡、２階1,022.24㎡、３階186.96㎡）
ホール客席数	６３３席 （昭和６３年の大規模改修工事により818席から633席）
建設費	１億６千万円
駐車台数	９７台

２.主な経緯

・平成２０年度　　耐震診断調査を実施
（判定結果はA～EのうちE判定【耐震性は相当劣る】）

・平成２１年度　　耐震補強計画作成

・平成２６年１０月　大野市文化会館在り方検討委員会設置（５回開催）

・平成２７年　４月　文化会館の在り方と今後の方向性に関する報告書提出
（駅東公園も含めた現在の文化会館敷地に建設することが望ましい）

・平成２８年　７月　基本構想策定委員会設置（６回開催）

・平成２９年　２月　大野市文化会館整備基本構想策定
（現駅東公園に新文化会館を建設し、跡地に新駅東公園を整備）

・平成２９年　５月　文化会館整備基本計画策定委員会設置（７回開催）

・平成３１年　２月　大野市文化会館整備基本計画策定
（機能、施設構成、運営方針、管理運営手法、整備スケジュールなど）

・令和　５年　７月　文化会館のあり方を検討する委員会の設置（７回開催）

・令和　７年　３月　大野市文化会館あり方検討報告書提出

３.大野市文化会館あり方検討報告書（令和７年３月２７日提出）

文化会館のあり方と方向性について

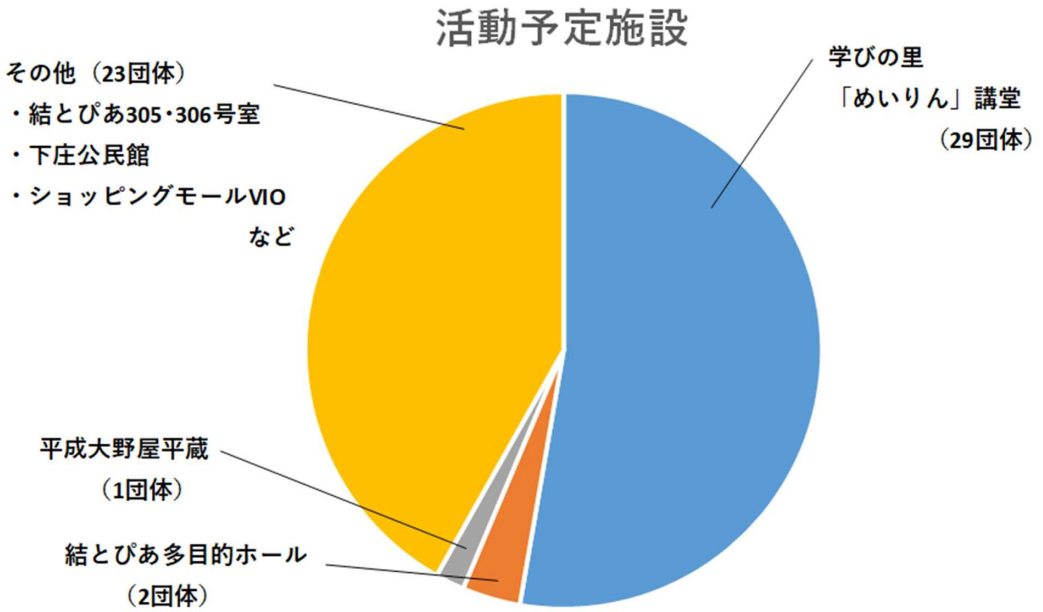
（１）文化活動に必要な補修や備品の導入を行うなど、市内の既存施設を有効に活用する方法が考えられる。

（２）現文化会館について、技術の進歩などにより事業費を抑えた工法による耐震化や長寿命化の可能性を探ることも必要であると考えられる。

４．調査の実施

調査１）市内の既存施設を有効に活用する方法について

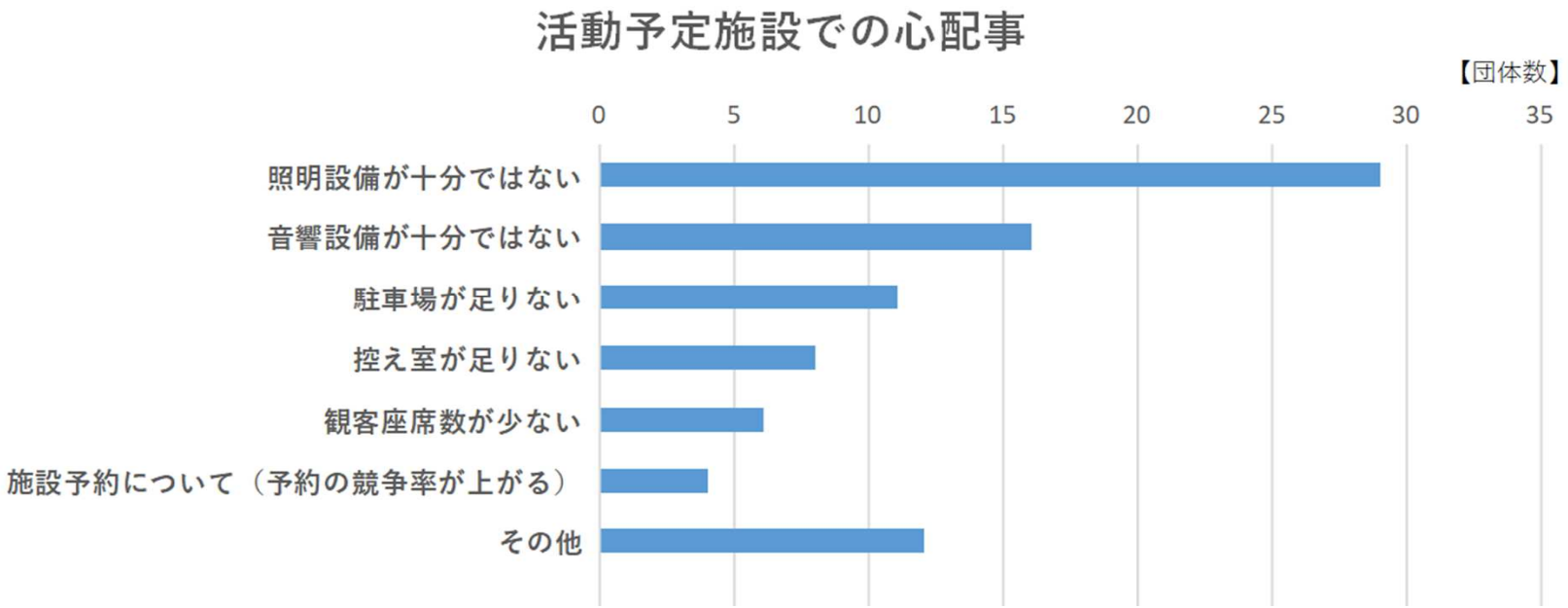
対　　象　：現文化会館ステージを利用している５０の文化団体等
調査期間　：４月１４日から４月２６日
聞き取り①：現文化会館閉館後の活動予定施設（複数回答）



結果：学びの里「めいりん」講堂、結とぴあ多目的ホール、平蔵などの施設での
活動を予定しており、うち**２９団体が「めいりん」講堂の利用を予定**している。

４．調査の実施

聞き取り②：活動予定施設での心配事（複数回答）



結果：ステージに関して**照明や音響が十分でなく心配**との声がある。
　　一方で**２３団体が「活動予定施設にある機材で活動できる」**と回答している。

４．調査の実施

調査２）現文化会館の耐震化や長寿命化の可能性について

回答者：有限会社竹内建築設計事務所　竹内 文男
福井大学 工学系部門 工学領域建築建設工学講座　准教授　井上 圭一
一般社団法人福井県建築士事務所協会　櫻川 幸夫

質問　：技術の進歩などにより、事業費を抑えることは可能か。

回答　：・技術進歩はあるが、事業費を抑えることができるとは思えない。
・材料費や人件費の高騰により、当時の計画より安くはならず、むしろ上がると想像される。
・技術進歩により安価で施工できる箇所もあるが、それは部分的なものであり、材料費と人件費の上昇により、全体的に安価で工事できるとは思えない。

結果　：　技術進歩による経費抑制以上に材料費や人件費が高騰しており、**全体的な事業費は高額になる**との見解であった。

５．方針

文化活動発表・鑑賞の場に関する方針

文化活動は、人々に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらし、人生を豊かにするものです。

文化活動発表の場については、市民が行う様々な文化活動が展開され、人材育成や魅力ある地域づくりの活性化を図ることができる場所として、また文化活動鑑賞の場については、市民が行う多様で質の高い優れた発表を鑑賞する機会を提供し、地域の文化振興を図ることができる場所として、大切な役割を担っています。

文化活動発表・鑑賞の場を確保するにあたっては、少子化高齢化、人口減少に伴う文化施設の利用者数の減少や、将来世代への負担を残さない持続可能な財政運営を考慮し判断する必要があります。

大野市は、大野市文化会館あり方検討委員会からの報告などを踏まえ、これからの市民の文化活動発表・鑑賞の場に関する方針を下記のとおりとします。

記

・文化会館の新築・増築並びに現文化会館の耐震化・長寿命化は行わず、現文化会館は、令和８年５月３１日をもって閉館します。

・文化活動に必要な補修や備品の導入を行い、市内既存施設を有効活用します。

令和７年５月　大野市